

那覇市立小・中学校電話システム概要

(1) IP電話回線（2回線～3回線）

那覇市は、インターネットによるIP電話サービスを導入しており、各施設間を内線番号で発着信をしている。那覇市立学校においては、VoIPゲートウェイにより電話のアナログ音声データとデジタルデータを相互に変換し、主装置にはアナログ2回線（給食室のある学校は3回線）を収容する。

① VoIP機器の1番の回線

VoIP機器からの1番の回線を局線1番に収容する。

② VoIP機器の2番の回線

VoIP機器からの2番の回線を局線2番に収容する。

③ VoIP機器の3番の回線（給食室のある学校のみ）

VoIP機器からの3番の回線を局線3番（給食室のFAX兼電話機）に収容する。また、給食室の電話番号は直通の電話番号になっており、この番号へ発信すると給食室のFAX兼電話機のみ着信音が鳴る。

④ VoIP機器の4番の回線

VoIP機器からの4番の回線は、事務室内のFAXに接続する。FAXを受信する時、他の子機が鳴らないように設定している。

(2) アナログ公衆回線（1回線）

停電時でも電話が使えるように、NTTのアナログ公衆回線を1回線契約する。

① 非常用電話機・災害時優先電話

災害時などで停電及びインターネット断が起こった時には、那覇市の交換機より自動でアナログ公衆回線へ回線が転送される。アナログ公衆回線による通話は非常用電話機を使用する。

また、アナログ公衆回線は、災害時等において通話を優先的に発信できるよう『災害時優先電話』として、NTT西日本の電話回線に登録する。

② 機械警備センサーからの通報

各学校の夜間警備は、機械警備にて行なっている。侵入者が機械警備のセンサーに反応した場合、このアナログ公衆回線から警備会社へ通報する。

那覇市立小・中学校電話 システム構成イメージ図（天久小）

